

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03(3581) 6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

TOKYO自民党は、4月23日投票で行われる中野区議会議員選挙に**加藤たくま**さんの公認を決定し、必勝を期しています。**加藤たくま**さんは、中野区政に望む決意を力強く語っています。

みつけよう。みんなの答えを。

政治を次のステージへ

インターネット・SNSの普及により様々な価値観が表面化しました。民主主義としては歓迎すべきですが、一部論争においては社会を分断しかねない状況となっております。政治は次のステージに進み、これまでのたくさんの失敗・経験から、全員が納得と共感ができる結論を導く必要があります。

ど真ん中世代として

仕事、子育て、介護、IT機器の利活用などあらゆる「ど真ん中世代」として、様々な経験、感性をもってお困りの方々の不安を少しでも取り除くべく、全力で戦ってまいります。様々な格差の是正、地域・若者の声を区政へ届ける仕事を加藤たくまに任せてください。コロナ・物価高騰により疲弊した社会・経済・地域活動のにぎわいを取り戻す様々な経済対策に注力して参ります。(裏面、詳細)

イノベーション創生

私は大学助手、国の研究所で研究をしてきました。いくつもの新しい科学技術が社会からその価値の理解を得られず、賞味期限切れとなる様を見てきました。研究者として科学技術の社会実装の一助が私の使命と心得、様々な挑戦をいたします。(以下、紹介)



3歳児の育児奮闘中！

自民党公認

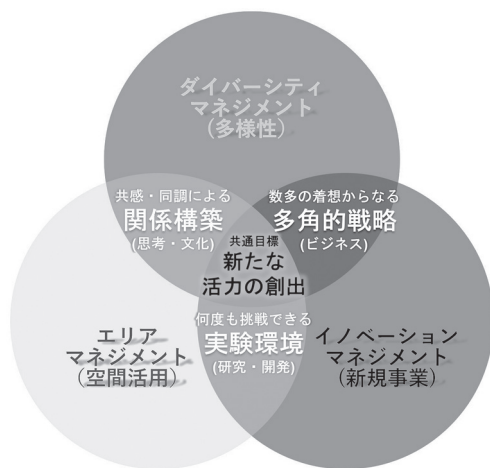
中野区議会議員 | 博士(工学)

加藤たくまさん

中野区をあらゆる挑戦ができる街に

小さな失敗と大きな成功ができる街 NAKANNOの創造

ダイバーシティマネジメント・エリアマネジメント・イノベーションマネジメントの3つを高度に運用し、人・物・金・情報を結集させ、新たな価値・活力が創出できるまちづくりを行います。
(加藤たくま作図)



世界最先端の浸水予測シミュレーション を活用した安全安心まちづくり

加藤さんの提唱で、国土交通省が開発した浸水予測システムを中野区の防災担当、一部の防災会に活用していただき、社会実装に向けての実証実験を行いました。この事例から、別の研究グループが開発中のリアルタイム浸水予測システムの中野区での活用を打診してきました。
社会実験フィードの提供で、中野区は全国に先んじて、防災力を強化できる可能性があります。



国土交通省開発の浸水予測モデル

神田川上空を活用したドローン物流・ 河川点検の実現に向けた実証実験

都心部ではドローン落下のリスクが他よりも高く、**都心部で誰にも迷惑をかけずに飛行できる場所は河川上空のみ**です。そこで私が組織したTOKYOドローンウェイ研究会は神田川をフィールドにドローンを活用した物流・河川点検に向けた実証実験を行っております。
また、これまでに中野サンプラザを対象にドローンを活用した建物点検技術開発を行っており、閉館する同建物のデジタル保存に向けた検証を進めております。



ドローン空撮画像から生成した3次元モデル(国際航業)

【加藤たくまさんのプロフィール】

中野区で、高校生まで学び育ち、瀬戸大橋のような巨大構造物建設の夢を持ち、土木工学の道へ。

しかしバブル崩壊で希望就職先がなくなるロストジェネレーションに。

教授の薦めで、研究者の道へ進み、大学助手、国交省研究所、シンクタンクを経て、2015年中野区議会議員。

現在、区政課題解決とともに科学技術を社会実装させるために活動中。

論拠を以って政策を！

1979(昭和54)年7月3日中野区生まれ/O型
家族：妻・長男(2歳) 父：館山市 母：山形市

【学歴】

ほげんじ幼稚園／中野区立仲町小(現 桃花小)／中野九中(現 中野中、水泳)／都立富士高(アメフト)／中央大学・大学院(土木工学)／博士(工学)

【職歴】

中央大教育技術員(いわゆる助手、水循環研究)
・国土交通省国土技術政策総合研究所(国家公務員、雨雲レーダー開発・災害対策)
・国土技術研究センター(シンクタンク、気候変動対策)
・中野区議会議員(現2期、自民党政調会長、情報政策等調査特別委員会委員長)

【社会活動等】

・あおいちゃんを救う会(10日間で1億円の募金活動)
・青少年育成南中野地区委員会広報部長
・都立富士校アメリカンフットボール部後援会長
・中野区ラグビーフットボール協会会長
・東京青年会議所2018年度中野区委員会委員長
・第42回わんぱく相撲中野区大会副会長
・公益財団法人中野区教育振興会副会長
・中野区ものしり博士取得・中央大学客員研究員
・TOKYOドローンウェイ研究会メンバー
・マニフェスト大賞(第13・15回)ノミネート
・自由民主党中野総支部政調会長
【趣味・特技】
水泳、ランニング、立ちコロ、プログラミング

【加藤たくま事務所】

〒164-0013
中野区弥生町5-11-22-402
TEL: 090-2230-2081
FAX: 03-6869-9219
MAIL: mail@kato-takuma.com
LINE: takma_kato



「だったらいいな」をともに!! ～中野区自民党の挑戦～

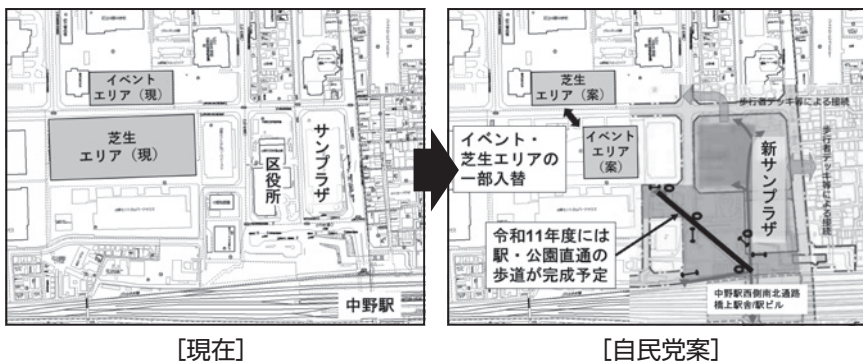
四季の森公園：芝生の開放期間の拡大・イベントの充実

中野四季の森公園を憩いの場、楽しめる場所として、バージョンアップするために抜本的な公園改修に自民党は挑みます。

現在、中野四季の森公園の芝生エリア日陰部分が多く、谷形状で水はけが悪いため、芝生の閉鎖期間が長いことが長年の問題となっております。また北側の地面がブロックであるイベントエリアは近隣の中学校・住居への配慮として、スピーカー・飲酒の禁止時間を設けており、結果、利用するイベント事業者がほとんどいないのが現状です。

これら問題を解決するために下図のようにイベントエリアと芝生エリアの一部の入替えすることを区へ提案してまいります。また技術革新で、定めたエリアのみへ音を発する指向性のあるスピーカーが開発され、騒音対策は可能で、イベント事業者が利用をしたくなる公園へと生まれ変わる可能性を秘めております。中野駅の新北口（西口）が整備されれば、中野駅から直通2分で四季の森公園にアクセスでき、新サンプラザとの柔軟な連携体制の構築が図れます。また災害時の拠点としての再整備、災害時給水（飲み水）ステーションの設置、神田川への雨水流出抑制のため地下に雨水貯留施設を整備するなど抜本的な改修を区に検討させます。

自民党が挑む四季の森公園のレイアウトチェンジ



[現在]

[自民党案]

コロナを契機とした地域経済・社会の好循環施策

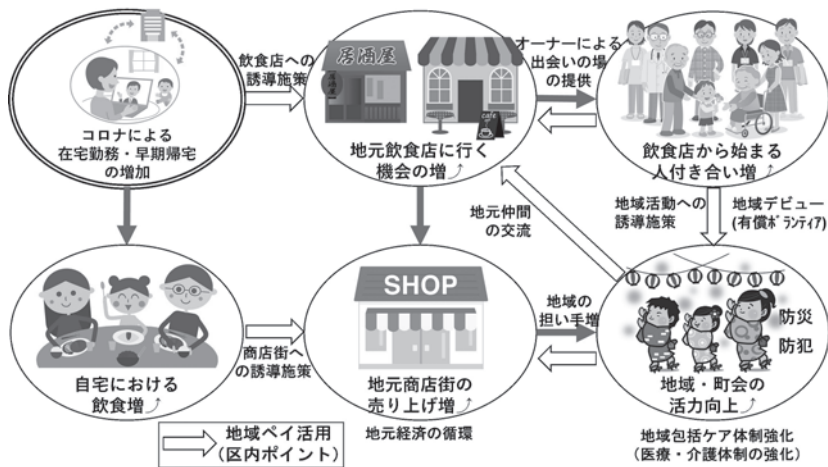
コロナ禍により、社会・経済活動は大きな変革、混乱をもたらしましたが、今後は中野区にとってプラスにすることが可能と考えます。

例えば、千代田・港・新宿の都心3区は在宅勤務が進んだことで昼間人口が激減、たばこ税が3割以上の減収となりました。一方、中野区は全国的にたばこ税が減少する中、横ばいでした。在宅勤務で自宅周辺で買い物をするポテンシャルが増加している証拠です。

そこで地元の飲食店における食事、自炊のための買い物を地元商店街に誘導する刺激策（地域ペイによるポイント還元など）を講じ、それぞれの売り上げ増につなげます。また地元飲食店には地元の方々の出会いの場を提供していただき、地域デビューを促す地元飲食店を基軸とした地域経済・コミュニティの好循環モデルを提唱させていただきます。

また地域ペイを活用した有償ボランティア制度を確立し、地域・町会の活力向上、防災・防犯力、地域包括ケア体制の基盤の強化を推進します。

自民党が考える地域経済・コミュニティの好循環モデル



2023中野区自民党政策一覧

【地域経済の活性化・賑わいの創出】

〇ワクワクする新サンプラザと中野駅周辺再開発（中野区のやる気がなく、自民党からの指摘がなければ、展望台もなかった新サンプラザ計画に自民党が魂を吹き込みます。）

〇活力あるまちづくりの推進

（東中野駅東口周辺、西武新宿線連続立体交差事業（新井薬師前駅、沼袋駅、野方駅、都立家政駅、鷺ノ宮駅、上高田周辺）、南台・弥生町・大和町、若宮防災まちづくり）

〇にぎわいを生み出すエリアマネジメント

〇サブカルチャー（若者・大衆文化）の維持・発展

〇区内経済・にぎわいに資する商工会館跡地の活用

〇多様性を活かした社会づくり

〇地域デビューの入口の創出（誰でも参加OK） 〇区道のテラス席開放

〇イノベーション推進（ドローン・ロボット等最先端技術）

〇ペットとの共生社会実現（ドッグラン・避難所等）

〇町会・自治会の活動支援、商店街活性化（地域ペイでポイント還元）

新サンプラザ
(2029年完成予定)

【子育ての質の向上へ】

2022年、名目上待機児童ゼロの達成。子育て環境は量から質へ。

〇区の実で進まない小中学校舎建て替えの早期化

（中長期的な建て替え計画を立案するも、ひとつひとつの事業に不備があり、やり直しを余儀なくされており、計画に大きな遅れが生じております。）

〇包括的な子育てリフレッシュ制度の確立 〇何歳からでも入れる保育園

〇園庭のない保育園への支援 〇幼稚園の幼児教育の質の向上と環境整備

〇子ども目線で考える子ども施設（児童館、キッズプラザ、学童クラブ、地域図書館など）の最適な再配置計画 〇学校給食の無償化の検討

〇地域と学校で創るコミュニティスクールの推進 〇病児サービス拡充

〇中学校総合体育大会の国立競技場開催の復活 〇自習スペースの拡充

〇23区中15区が実施している奨学金制度の創設 〇ヤングケアラー支援

〇機能不全の子ども権利条例の活用 〇子どもの貧困対策（食堂・配食）

【安全安心のまちづくり】

〇物価高騰に対する区民生活・事業者支援

〇災害予報情報の発信の拡充（全自治体初の浸水予測社会実験）

〇木造密集住宅の解消・無電柱化の推進

〇防犯カメラのさらなる設置

〇災害に配慮した楽しめる公園整備 〇スーパー買物後のご自宅配送

〇高齢者・障がい者・誰にも優しいユニバーサルデザインの推進

〇気候変動へ緩和・適応したまちづくり 〇循環型社会に資する環境施策

〇環境・防災・住み心地を総合的に考慮した野心的な住宅政策

【医療・介護体制の更なる充実】

〇新型コロナウイルス感染症対策 〇コロナワクチン接種の環境整備

〇予防医療推進による医療費削減 〇お口の健康から始める健康施策

〇認知症対策を核とした介護予防 〇望まない受動喫煙の防止・分煙推進

〇スポーツによる健康増進（体育施設料金の低額化）

〇自治体ビッグデータを活用した施策立案 〇各種ワクチンの補助検討

〇区民が安心できる地域包括ケア体制の構築

【区政運営の改善】

〇職員ファースト区政からの脱却

〇少子高齢化に対応した財政運営

〇新庁舎整備に伴うサービス拡充

〇職員の働き方改革（MS365活用）

〇学校跡地などの施設の地域活用

〇ナカノさんの利活用の再検討

〇遅々として進まない区有施設整備の確実な前進



新・中野区役所（2024年2月完成）